

榛名宮本町活性化事業

宮本町活性化事業「まちづくり宮本町」の概要について

1. 榛名地域宮本町地区の現状について

榛名地域の商業の中心地であった下室田町榛名支所周辺は、里見地区の国道406号沿線への大型店進出、スプロール化による都市構造の変化や消費者ニーズの多様化に伴い、空き店舗の増加や後継者不足等により衰退しているのが現状です。

宮本町商店街の中心には、平成9年に都市計画決定された国道406号線、主要地方道あら町・下室田線及び県道安中・榛名湖線が走り、その沿線に商店が立ち並んでいます。

国・県道が交差する室田交差点は、変則な交差点となっており、歩道がなく幅員も狭いうえ、周辺に駐車場も完備されておらず、宮本町商店街衰退の一因とも考えられていることから都市計画道路の整備が求められています。

かつて、賑わっていた宮本町商店街は、大型店の進出や消費者ニーズの多様化、モータリゼーションの影響などにより地域住民の目が郊外へと向かってしまったことや、地域独自の物産など商品の差別化や由緒ある建物が無いことなど、集客するためのツールに乏しい現状にあります。

2. 榛名地域宮本町地区のまちづくりの経過について

宮本町地域におけるまちづくり活動は、宮本町商店街に賑わいを取り戻そうと、平成11年9月に現在の「まちづくり宮本町」の前身である役場近隣活性化委員会が発足しました。このことにより、宮本町商店街をはじめ周辺のまちづくり活動が始まりました。

既存の商店街の後継者不足や廃業の問題から商店街に空き店舗が増加し、シャッター通りとなり景観を悪化させていることから、現状から脱却し、活性化を図り賑わいを取り戻したいという考えの元に発足した役場近隣活性化委員会は、平成14年に「まちづくり宮本町」に名称変更し現在に至っています。

年 月 日	内 容
平成11年 9月21日	役場前近隣活性化委員会設置
平成11年10月21日	山梨県身延駅前しょうにん通り視察
平成12年 6月 2日	役員会で毎月1回の会議開催を決定

平成12年 7月25日	講演会
平成13年 2月 6日	NPO 法人まちづくりネットワーク トムネットに指導を依頼
	トムネット代表理事 林秀樹氏の講演会
	トムネットによる勉強会
平成13年10月26日	新潟県新井市視察（トムネット指導）
平成14年 7月29日	新潟県新井市役員視察
平成14年 8月27日	役場近隣活性化委員会をまちづくり宮本町に名称変更
平成15年 1月30日	トムネットを交えワークショップを開催
平成15年度	委員会の実施・・・9回 講演会・・・1回 アンケートの実施・・・2回 視察研修・・・3回 （新潟県新井市・埼玉県秩父市・東京都青梅市）
平成16年度	委員会の実施・・・7回 ナイトバザールの実施・・・10月16日（土）

3. まちうち再生総合支援事業による“まちづくり宮本町”の事業経過について

(1) 平成17年度の概要

平成17年度に従来の活動を改め、キーワード「四ツ角整備とまちづくり“自分たちのまちは自分たちで”」の元に、宮本町商店街活性化のために兼ねてから懸念されていた四ツ角整備と宮本町のまちづくりを一体的に検討することが望ましいと考え新たなまちづくり活動を始めることとなりました。

今まで宮本町商店街のまちづくりにとってネックとなっていた四ツ角を、自分達の手によって整備していくということで住民参加のまちづくりにおけるモチベーションを住民に喚起することができました。具体的には、四ツ角整備の検討をはじめとしたハード面、商店街活性化方策の検討といったソフト面の両面から宮本町を見つめ直すことを核とした活動が行われました。

17年度に実施したワークショップでは、四ツ角整備と宮本町全体の活性化を考える意味での前段階として、榛名支所前の県道拡幅にあわせたストリートファニチャー案の作成など、住民の意見を反映させたまちづくりを目指した検討を行いました。

事業	年月日	内容
はるなナイトバザール	17.5.14	はるなナイトバザールの実施
事前講演会	17.8.22	市民協働によるまちづくり事例 ～市民と行政の役割分担～
まちづくり勉強会	17.10.6	住民主体のまちづくりについて

第1回まちづくりワークショップ	17.11.1	まちを見直そう ～宝物と困ったちゃん～
先進地視察	17.11.22	道路整備を核としたまちづくり 栃木県那珂川町・益子町
第2回まちづくりワークショップ	17.12.13	道路整備のコンセプト ～拡幅区間と四ツ角交差点の統一感を～
第3回まちづくりワークショップ	18.1.11	まちづくりデザインゲーム ～みんなの意見を表現しよう～
まちづくりワークショップ 成果報告会	18.3.23	ワークショップで得られた成果報告 今後の展望

(2) 平成18年度の概要

平成18年度においても、先進地視察や勉強会を実施してまちづくりのノウハウを学び、また、ワークショップを開催し地域住民の意思疎通を図りつつ、宮本町活性化基本計画策定のための検討を行いました。

事業	年月日	内容
はるなナイトパザール	18.5.13	はるなナイトパザールの実施
まちづくり勉強会	18.6.16	平成18年度の取り組みについて
第1回まちづくりワークショップ	18.7.19	四ツ角周辺地区の抱える課題 (課題確認と再確認)
先進地視察	18.8.29	道路整備を核としたまちづくり 福島県三春町
第2回まちづくりワークショップ	18.9.15	まちづくり目標を決めよう ～こんなまちづくりを目指そう!～
第3回まちづくりワークショップ	18.10.17	意見交換会 ～今までの成果と勉強会を通じて～
第4回まちづくりワークショップ	18.11.29	基本構想図を作成しよう(1) ～将来像を描こう～
第5回まちづくりワークショップ	18.12.14	基本構想図を作成しよう(2) ～将来像を描こう～
まちづくりワークショップ 成果報告会	19.2.27	ワークショップで得られた成果報告 今後の展望

住民意識喚起事業

～まちづくり宮本町によるまちづくり事業の実施～

- ・ はるなナイトバザールの開催

宮本町住民の意識喚起と宮本町商店街の情報発信のため実施しました。

プロデュース支援事業

～宮本町活性化基本計画策定活動の実施～

- ・ まちづくり勉強会の実施

まちづくりのノウハウを学ぶため勉強会を実施しました。

- ・ まちづくり先進地視察の実施

道路整備を核としたまちづくりを実施しているまちづくり先進地の視察を行い、道路整備のあり方を学び住民意識の高揚を図るため実施しました。

- ・ まちづくりワークショップの開催

まちづくり宮本町による、宮本町活性化基本計画を検討・策定するため、宮本町商店街の活性化及び道路整備についてワークショップを開催しました。

- ・ まちづくりニュースの発行

まちづくり宮本町の活動を地域住民に広く周知し、商店と住民の連携を図るため、宮本町全戸に6回配布しました。

- ・ まちづくりワークショップ報告会の開催

宮本町活性化基本計画をまちづくりに反映するため、その計画の概要を地域住民へ周知するため報告会を開催しました。

4. 今後の“まちづくり宮本町”の事業展開について

平成19年度においても、「まちうち再生総合支援事業」の補助を受け、ワークショップや先進地視察、勉強会で学んだまちづくりのノウハウを生かし、地域住民の意思疎通を図りながら、宮本町商店街の活性化対策や道路事業へ反映されるような「宮本町活性化基本計画」の策定を行うための事業を実施します。

(1) 住民意識喚起事業

まちづくり宮本町によるまちづくり事業の実施

宮本町住民の意識喚起と宮本町商店街の情報発信を行うため、「はるなナイトバザ

ール」を開催します。

(2) プロデュース支援事業

宮本町まちづくり基本計画策定活動の実施

- ・まちづくりのテーマ設定と将来のまちづくり基本計画の作成
平成18年度までのまちづくりワークショップの検討成果を踏まえ、宮本町地区のまちづくりのテーマと土地利用計画などを明らかにした基本計画を作成します。
- ・個別空間の整備イメージの作成
まちづくりワークショップによる地元住民の意見等を踏まえ、宮本町地区の土地利用方針、公共施設及び、民有空間（街並み）の整備方針や、高崎市の景観形成方針を踏まえたまちづくりを実現するための検討を行います。
- ・まちづくりの実現に向けての課題整理
持続発展的なまちを育てていくためのまちづくり方針や個性と魅力あるまちづくりに向けた今後の推進体制などについて課題整理を行います。
- ・地元住民の合意形成活動（ワークショップの継続的開催）
「まちづくりワークショップ」を継続的に開催し、実現化を目指した地元住民の合意形成活動を展開します。



ワークショップ風景